

国際大学GLOCOM ブロックチェーン経済研究ラボ

2018年度版 定期レポート購読募集のご案内

2018年3月

国際大学グローバル・コミュニケーション・センター

本企画のねらい

各企業におけるブロックチェーンへの取り組みは、以下のような課題があります。

- ✓ 情報が膨大すぎて**何が重要かわからない**
- ✓ 技術開発において何がポイントで、**どれが重要なイノベーションかわからない**
- ✓ **情報収集・調査に手間やコストがかかる**（各社の専門部署、外部委託による実施）
- ✓ **どこから手を付けてよいか**わからない、**どことパートナーを組めば良いのか**わからない



ブロックチェーン経済研究ラボの定期レポートの購読と研究会活動によって、上記の課題は解決可能です。

定期レポート

- 世界中の重要な情報を**エンタープライズの視点から定期的に収集し**、解説を付加
- 「今月のまとめ」や有識者のコラムにより、**重要な論点やトレンドを効率的に把握可能**

研究会活動

- セミナーやシンポジウムへの参加により、**最先端の生の情報を獲得**
- GLOCOM研究員による**個別コンサルティング**により、検討の方向性やパートナーを獲得

GLOCOMでの取り組み実績

- 国際大学GLOCOMでは、2016年3月に「**ブロックチェーン経済研究ラボ**」を立ち上げ、**各種セミナー、研究サロン、シンポジウムの開催、実証実験等**に取り組んでいます。
- 中立的な立場からブロックチェーンの技術動向、応用、ビジネスへの影響について調査研究を進めており、**バランスの取れた情報収集と知見の発信**に努めています。
- **国内外の企業や研究機関との連携、定期的な海外調査等**を行っており、世界の最先端の情報を収集しています。



ブロックチェーン経済研究ラボ HP



シンポジウム「ブロックチェーン・イノベーション2017」

イベント等開催状況



研究サロン

第1回（2016年4月12日開催）

「ブロックチェーンの発展状況と経済的インパクト」

第2回（2016年5月25日開催）

「デジタル通貨の可能性」

第3回（2016年7月14日開催）

「デジタル通貨に関する各国中央銀行の取り組みについて」

第4回（2016年9月1日開催）

「デジタル通貨の法的課題」

第5回（2016年10月27日開催）

「「Iroha」の概要について」

第6回（2016年11月17日開催）

「ブロックチェーンのIoTへの活用」



オープンイベント

公開コロキウム

第1回（2016年4月26日）

「ブロックチェーンの概要と発展可能性」

第2回（2016年5月18日）

「ブロックチェーンの概要と発展可能性2」

第3回（2016年5月25日）

「通貨としてのビットコインを考える」

シンポジウム「ブロックチェーン・イノベーション2016」2016年9月8日開催

シンポジウム「ブロックチェーン・イノベーション2017」2017年12月8日開催



プレミアムセミナー

第1回（2017年7月27日開催）

「地域におけるブロックチェーン活用」

第2回（2017年9月29日開催）

「ブロックチェーンのガバナンス」

第3回（2018年2月28日開催予定）

「世界におけるブロックチェーン応用の最新動向」

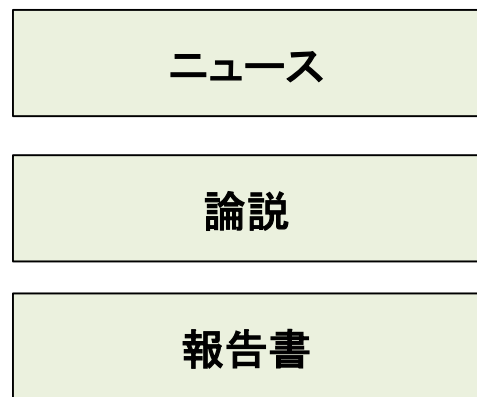
第4回（2018年3月8日開催）

「ブロックチェーン技術の展開と課題
2017年度の総括と今後の展望」

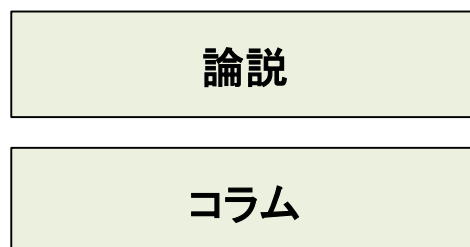
定期レポート

- 世界中で発信される**膨大なニュースや論説**から、GLOCOMの視点で重要な点を抽出し、その意義や重要性について解説を加えます。
- 購読者の皆様は、ブロックチェーン関連のトレンドや重要なトピックについて、膨大な情報に直接当たることなく、**タイムリーに把握**するとともに、**キーマンの意見や方向性を把握**することができます。

世界中で配信されるニュース等



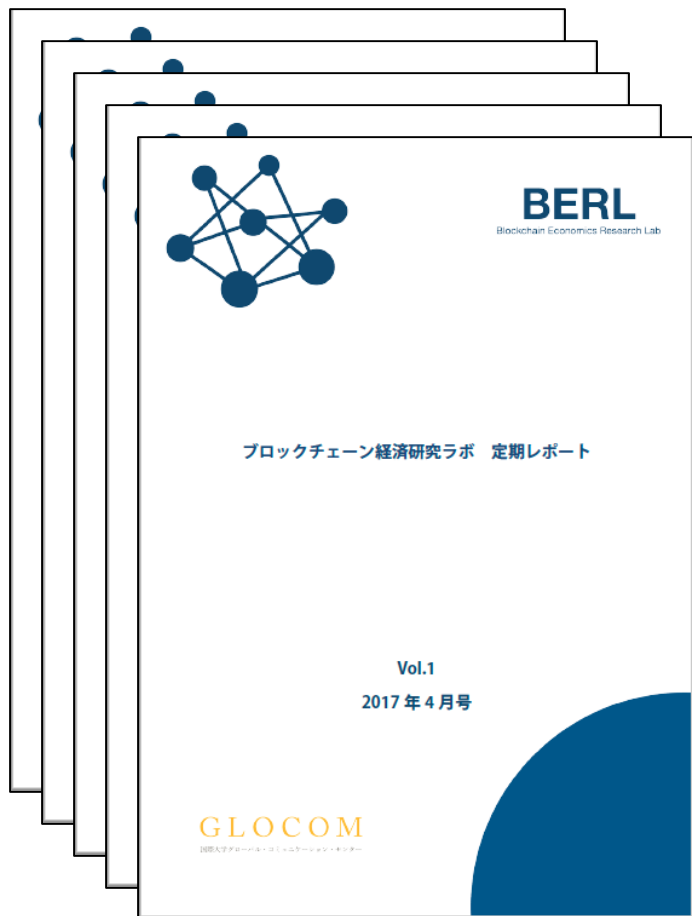
GLOCOM・有識者の知見



BERL
Blockchain Economics Research Lab



2017年度の定期レポート発行実績



- 創刊4月号から毎月発行
- 各号内容
 - 「今月のまとめ」
 - 世界の重要な出来事に関するコンパクトな情報集約（約15件）
 - ブロックチェーンに関する有識者によるコラム
 - GLOCOMからのお知らせ

主な2017年度のコラム執筆者

高木聡一郎（国際大学GLOCOM）

北島隆次（弁護士、TMI総合法律事務所）

山崎重一郎（近畿大学教授）

斉藤賢爾（慶應義塾大学SFC 研究所 上席所員）

廣瀬一海（日本マイクロソフト株式会社）

宮村和谷（PwCあらた監査法人）

藤井 靖史（会津大学准教授）

峯 荒夢（株式会社ガイアックス）

伊藤佑介（博報堂DYホールディングス）

高城 勝信（ブロックチェーン・アーキテクト）

研究会活動

定期レポート購読企業の皆様は、生の情報を取得して、実際のビジネス活動につなげるための研究会活動にご参加いただけます。

1. GLOCOM主催ブロックチェーン関連セミナーへの参加枠確保

- 購読企業の皆様は、GLOCOMで開催するブロックチェーン関連セミナーシリーズ（年4回程度開催予定）へご参加いただけます。本セミナーはブロックチェーンの最新動向に関する話題提供を受けて議論する場として運営し、客観的なニュースでは得られない洞察や理解を得ることができます。
- また、異業種交流や企業間連携の出会いの場としても活用することが可能です。
※2017年度からの変更点：テーマの内容によっては、一般の方々の参加も受け付ける場合があります。

2. GLOCOM主催シンポジウムへの参加枠確保

- 購読企業の皆様は、対象年度にGLOCOMで開催するブロックチェーン関連シンポジウムへ無料でご招待させていただきます（1社3名まで）。
※2017年度からの変更点：有料・無料イベントの別を問わず、1社3名までご招待させていただきます。

3. GLOCOM研究員の訪問による最新動向プレゼンテーション、コンサルティング

- 購読者の企業様は、GLOCOM研究員とブロックチェーンを活用したビジネスの推進について無料で相談頂けます。ユーザー企業におけるブロックチェーンを利用したサービスの企画、IT企業におけるビジネス展開、パートナーの紹介についてもご相談に応じます。
※2017年度からの変更点：従来のGLOCOMにおける無料相談に加え、ラボ代表が御社を訪問し、最新動向のプレゼンテーションを行うとともに、ご相談に対応させていただきます。（年2回まで）

ラボ代表：高木聡一郎



国際大学グローバル・コミュニケーション・センター（GLOCOM）研究部長／准教授／主幹研究員、および東京大学大学院情報学環客員研究員。国際大学GLOCOM ブロックチェーン経済研究ラボ代表。これまでにハーバード大学ケネディスクール行政大学院アジア・プログラム・フェロー、慶應義塾大学SFC研究所訪問所員、東京大学大学院情報学環客員准教授などを歴任。専門分野は情報経済学、技術経済学。IT産業のビジネスモデルや、ITの普及・発展に伴う社会への影響を、主に経済学の観点から分析している。主な著書に「ブロックチェーン・エコノミクス 分散と自動化による新しい経済のかたち」（翔泳社）など。

経済産業省「平成29年度 我が国におけるデータ駆動型社会に係る基盤整備（分散型システムに対応した技術・制度等に係る調査）」ブロックチェーン法制度検討会 構成員 2017-

総務省 情報通信審議会 情報通信政策部会 IoT新時代の未来づくり検討委員会 産業・地域づくりWG委員 2017-

総務省 情報通信審議会 情報通信政策部会 IoT政策委員会 基本戦略WG ブロックチェーン活用検討サブワーキンググループ構成員 2017-

ISO TC307（Blockchain and electronic distributed ledger technology）国内審議委員会委員 2016-

経済産業省（三菱総合研究所受託）「ブロックチェーン技術を活用したシステムの評価軸整備検討委員会」委員長 2016-2017

価格とお申し込み

価格

80万円／社（税抜）

- 定期レポートの送信先として、1社あたり10アドレスまで登録可能です。
- セミナーには原則として1社あたり3名までご参加可能ですが、3名以上の参加が可能な場合もあります。
- 年度途中での参加の場合は割引となります。（7万円／月の購読料／会費となります）

申し込み方法

所定の申込書に記入の上、電子メール、FAX、郵送のいずれかでお申し込みください。

申し込みに関する問い合わせ先

国際大学グローバル・コミュニケーション・センター

ブロックチェーン経済研究ラボ 事務局

担当：安藤

Tel: 03-5411-6674

Mail: berl [at] glocom.ac.jp ← [at]を@に置き換えて送信してください。

GLOCOM

【本件に関するご連絡先】

国際大学グローバル・コミュニケーション・センター
ブロックチェーン経済研究ラボ 事務局

担当: 安藤 / 高木

Tel: 03-5411-6674

Mail: berl [at] glocom.ac.jp ← [at]を@に置き換えて送信してください。